

鹿島のあゆみ

鹿島の創業は1840年。創業から179年を迎える今日まで3世紀にわたって、
鉄道をはじめとする社会基盤整備やオフィス、商業施設、住宅など人々の生活や活動の場を創造し、
建設事業を通じて安全・安心で快適な社会の構築に貢献してきました。
これまで「洋館の鹿島」「鉄道の鹿島」「原子力の鹿島」「超高層の鹿島」などの冠で呼称されてきたのは、
創業以来、常に時代を先取りする「進取の精神」が脈々と受け継がれ、
技術で未来に挑戦を続けてきたことの証でもあります。

100年をつくる会社、鹿島。

私たちは、これからの100年に向かって、
ますますグローバル化する社会の中で、
常に変化しさらに高度化する時代のニーズに応えながら
歩み続けます。

1840

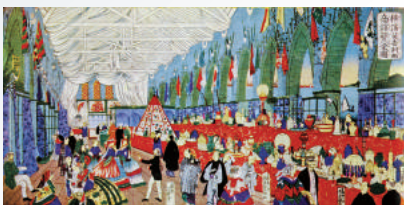
創業期

「洋館の鹿島」の頃

1840年

鹿島岩吉が江戸中橋正木町で創業

洋館建築に先鞭。横浜で英一番館、亜一番館
はじめ、蓬萊社や岡山県庁など当時の先端を
行く建物を施工



英一番館



蓬萊社

鉄道請負への転進

「土木の鹿島」への雄飛

1880年

鉄道請負に転進(日本初の鉄道工事に資
材納入が「鉄道の鹿島」の第一歩)

東海道本線丹那トンネル、横川ー軽井沢間
の鉄道、朝鮮や台湾でも鉄道工事を施工。
その後ダム、高速道路、新幹線、空港などの
大プロジェクトを次々と手掛ける



阿賀野川橋梁



上野駅

「原子力の鹿島」 「超高層の鹿島」

技術で時代を先取りして

1949年

建設業界初の技術研究所を設立

日本初の原子炉である日本原子力研究所第1
号原子炉、日本初の超高層霞が関ビルを施工。
原子力分野へ進出する一方、臨海地帯では大
型ドックや火力発電所などを施工
霞が関ビルの完成(1968年)は今日までの
「超高層の鹿島」の礎となる



日本原子力研究所第1号原子炉



東海道新幹線・新丹那トンネル



霞が関ビル

開発事業に注力、 海外でも積極展開

グローバル化への道

1964年

米国にKajima International Inc.(KII)発足、ロサンゼルスで開発事業がスタート

米国で大規模な自動車工場などを施工し、旧東独ではホテルなどを手掛ける。国内では民間単独の宅地開発として最大級の志木ニュータウン(埼玉県)の開発事業を開始(1971~1988年)



リトル・トーキョー再開発(ロサンゼルス)



最高裁判所



志木ニュータウン開発事業



南備讃瀬戸大橋

ビジネス領域の拡大

さらなる躍進へ

1988年

統括現地法人Kajima Overseas Asia (KOA)設立。Kajima USA(1986年設立)、Kajima Europe(1987年設立)とあわせ、日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの世界4極体制を確立

2009年

創業170年

2015年

統括現地法人Kajima Australia(KA)設立



汐留シオサイト



東京国際空港D滑走路



スナヤン・スクエア・プロジェクト(インドネシア)